

明治期の水晶工芸から、現在のジュエリーまで。



Yamanashi
Jewelry
Museum

こうふ開府500年
記念事業関連展示

宝石の街 甲府

2018年10月20日(土)～
2019年2月11日(月・祝)

山梨ジュエリーミュージアム

甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階
<http://www.pref.yamanashi.jp/yjm/>

入館無料

後援:こうふ開府500年記念事業実行委員会



こうふ開府500年
1819-2019



こうふ開府500年
1519-2019

こうふ開府500年
記念事業関連展示

宝石の街 甲府

2018年10月20日(土)から
2019年2月11日(月・祝)まで

甲府市には県内にあるジュエリーの企業や工房の多くが集まっており、宝石の街として山梨の研磨宝飾産業において大きな存在感を示してきました。山梨のジュエリーは、かつて金峰山一帯から水晶が産出したことを発端に、江戸後期には京都の玉つくりの職人が水晶加工の技術を金桜神社の神官たちに教えたことから始まったと言われていいます。加工技術はやがて水晶工芸と水晶研磨へと枝分かれし、水晶工芸は

現在の甲府市には、水晶のみならず世界各国から集まった宝石を加工し流通させる宝飾の一大集積産地となっています。本展では明治期の水晶工芸から、現在のジュエリーまで幅広く展示し、貴金属加工・宝石研磨・水晶美術彫刻の各分野を紹介しながら、それぞれの技術が世代を経て新しい価値を生みだそうとする取り組みもあわせて紹介いたします。

山梨県甲府市は2019年1月1日をもって開府から500年を迎えます。(1519年12月に武田信虎(信玄の父)が躑躅ヶ崎(現武田神社)へ石和より居を移し、甲斐の新府中「甲府」が誕生)

国の伝統的工芸品に指定された甲州水晶貴石細工へ、水晶研磨はジュエリーに用いる様々な宝石の研磨技術へとそれぞれ発展しました。また、甲府の鋳職人に加えて、明治初期の廃刀令の施行によって仕事が激減した職人が静岡などから甲府へ移り住んだこともあり、鋳貴金属加工の技術と石の研磨技術が合わさり、装身具を生み出す産業が成立していくこととなります。



1



2



3



4



5

- 1/《待宵》デザイン:米山美香 制作:河野水晶美術 河野道一, ジュエリーアートクレアール 久保寺今朝之
- 2/《惑星》デザイン:内田千奈美 制作:クラウン商会 小宮山光夫, 株式会社KARAT 丹澤昌二
- 3/《甲州貴石切子 切子珠》デザイン・制作:ジュエリークラフトカサワ 深澤陽一
- 4/《蜜》デザイン:飯島恵子 制作:光新宝飾
- 5/《MUSE》デザイン:雪江美恵子 制作:株式会社山宝

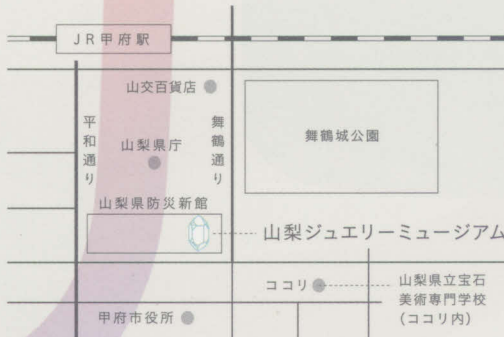
表面作品画像
ペンダント《ゆきのはな》デザイン:西美由紀 制作:山本製作所 山本 武, ジュエリーフルヤ 古屋孝夫
香水ビン 山梨大学所蔵 石原宗美水晶工芸コレクション
桜彫香水入洋ビン 山梨大学所蔵 石原宗美水晶工芸コレクション
ペンダント《リボン》デザイン:清水司朗 制作:工房 雅 藤澤一雅, 貴石彫刻オオヨリ 大寄芳朗

同時開催
イメージが形になるまで Vol.2

2019年1月12日(土) ~ 2月11日(月・祝)

主催:ジュエリーデザイナーズクラブ山梨

ひとつのジュエリーが出来上がるまでには様々なストーリーがあります。イメージの起点となるスケッチやデザイン画などととも完成したジュエリーをお楽しみください。



開館時間/午前10時~午後17時30分(入館は開館時間の30分前まで) ●休館日/火曜日(祝日の場合は、その翌日)、12月29日(土)~1月3日(木)、その他臨時に開館・休館することがあります。●入館料/無料 ●駐車場/92台(山梨県防災新館地下有料駐車場、来館者は1時間無料)

山梨ジュエリーミュージアム
Yamanashi Jewelry Museum

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-6-1
山梨県防災新館1階
<http://www.pref.yamanashi.jp/yjm/>